

日本科学史学会会長・2019～2020年会長選挙立候補者 斎藤憲殿**2019年2月17日****木本 忠昭**

貴殿は、貴殿が開設した表記関連の会長選挙用インターネット・ブログにおいて、一方的に私の発言を著しく歪曲して一般に公開、名誉を毀損されました。抗議するとともに、歪曲部分を速やかに削除撤回し、歪曲であった旨を公表するとともに謝罪されることを申し入れるものです。

貴殿は、本年1月末、かねてから開設していた上記ブログ (http://www.greekmath.org/election_2019/index_2.html) を、アップ・デイトし、斎藤氏は、それまでは、入れていなかったホーム・ページに、突然木本の名を入れ、(学会で若手研究会等で参加者に弁当を配る提案をしたのだが)『旧全体委員の木本さん(このときの会長選挙の立候補者でした)が、「学会にかかわるといいことがあると思われるのはよくない」と発言・・・簡単に言えばお弁当を配るなんてもってのほか・・・、木本さんは、弁当の支給はいわば倫理的哲学的にいけないのだ、とお考えでした。』と、ブログでの文脈が、倫理的哲学的に弁当支給に反対する木本は、結局は若手振興にネガティブな姿勢であると、読めるように展開しています。

当時の、私の発言の趣旨は、若手養成は必要なことである、しかし「少ないお金でみんな苦勞している、それを、飲み食いに使っていると見られるような使い方には慎重であるべきである、過去にも、そういう使い方は問題だという議論があったと聞いている。さらに、一部に、立候補して何年も委員をやっているのは、委員になると何か良いことがあるに違いないと、実際は無私で献身的に活動しておられる人たちを中傷している人たちもいると聞いている。そういう中傷がある中で、飲み食いの見られかねないようなお金の使い方には問題があるのではないか」と発言したはずで。

私は、「学会にかかわるといいことがあると思われるのはよくない」と主張したというのは歪曲です。貴殿は、私が第三者の中傷的発言として紹介したものを、私の発言趣意として歪曲したものです。更には「倫理的哲学的」などと一般化の論理でも述べていません。あくまでも、学会への中傷がある中では慎重であるべきことを指摘したものです。困みに、私自身は、斎藤氏も承知であるはずですが、前回の会長選挙でも「若手研究をのばす年会での工夫」に言及しており、弁当支給でなくても若手補助の方法なら、例えば交通費補助など他にも色々あることは容易に理解できるはずで。木本のスタンスは若手振興ではないなどと読めるような文脈は全くの言いがかりであり中傷以外の何ものでもありません。

さらに、貴殿は、本年2月に入ってブログを更新し、新たな歪曲を行いました。

『科学史通信』選挙公報で、「学会の運営は現在極めて危うい橋を渡っている、悪くすると急速に停滞を招きかねない、立て直しが急務である」「問題は、今年度総会に見られたように、会長が(全体委員会や各種委員会での)それまでの議論を自分の意に反するとして突然“動議”を出して混乱したことに象徴され」と書きました。これに対して、貴殿は、「結果的に懇親会の開始が遅れて多くの方々にご迷惑をおかけ・・・し」たが、「木本候補によればこれは混乱なのだそうです」と、私が言ってもないことに歪曲し、問題をすり替えています。懇親会が遅れたことを、混乱したなどとは、どこでも言うておりません。こうした、他人の言説を歪曲することは、本来、科学史研究者としては職業専門的にも倫理上の問題としても最も許されな

い恥ずべき行為です。また、科学史学会の会長が、一会員に対する、かかる歪曲・中傷をもって自己の選挙活動を有利に運ぼうとするなどは、日本科学史学会の品位を著しく貶めるものでもあります。

速やかに、歪曲的言辞を撤回、その旨を一般に明示し、謝罪を要求するものです。